

ピアレビュー・ウィーク開始のお知らせ



## ピアレビュー・ウィーク 2021 は、イベントおよびアウトリーチを通じて、ピアレビューにおけるアイデンティティの役割を探求します

今年のピアレビュー・ウィークには、世界中の35を超える団体が参画。参加はまだ受付中。

[2021年7月1日] - 学術出版社や学術団体、学会、および研究者が主導して毎年開催される[ピアレビュー・ウィーク \(PRW\)](#)。今年のテーマは、『ピアレビューにおけるアイデンティティ』です。9月20日から24日の週に、参加団体は仮想イベントとアクティビティを通じて、ピアレビューにおける個人的および社会的アイデンティティの役割と、学術コミュニティがより多様で公平で、かつ包括的なピアレビューの実践を促す方法に焦点を当てます。

[オープン型国際調査](#)で最初に選ばれた2021 PRWのテーマは、現状に適していると言えます。

COVID-19のパンデミックで拡大した全体的な格差に反応した最近の社会正義の動きにより、世界中の個人や団体は、個人的、職業的、文化的なアイデンティティ間の相互作用に対し、より批判的な視点を取り入れるようになりました。学界では、研究文献が確実に多様な声を反映し、増幅できるよう対策を取ることがますます重要視されており、ピアレビューの実施方法は、そのためにも不可欠です。

「もし昨年1年間が何かを教えてくれたとすれば、私たちが個人、組織、集団として（自分たちが）誰であるかを構成するアイデンティティの複合体と、アイデンティティ間の繋がりを認識することは、学問の将来にとって不可欠であり、最終的にはグローバルの進歩となる、ということでしょう。パンデミックは、学界も例外ではなく、社会のあらゆる分野で取り組む必要のある、無数の根深い格差を露にしました。そしてそれは、個人および社会的アイ

デンティティの様々な側面を解き明かし、多様なアイデンティティを認める余地を作るために既存のシステムを再考していくことから始まると思うのです。」と、ScholasticaおよびPRWの共同実行委員長のダニエルは述べています。

「ピアレビューは、単なるプロセスではありません。ピアレビューにかかわる各利害関係者がそれぞれに明確な役割をもっているにも関わらず全体としての機能を果たす、活気に満ちた繁栄している生態系なのです。ピアレビュー・ウィーク2021は特別な存在です。今年はピアレビューを祝うだけでなく、それにかかわる複数の利害関係者の明確なアイデンティティが、多様性、期待、視点、経験、知識、スキルなどの層をどのように積み重ねていくかについても調査しています。アイデンティティが、ピアレビューにどのように影響するかを知る事は、今後、共生的な学術出版界がどのように機能し、需要の変化に適応していけるかの理解と、より包括的で公平なピアレビュープロセスの構築にも役立ちます。」と、カクタス・コミュニケーションズおよびPRWの共同委員長のジャヤシュリー・ラジャゴパランは述べています。

ピアレビュー・ウィークという、この称揚と学習の機会へ、学術団体や学会、研究者、編集者、出版社、図書館、大学、出資者の方々をはじめ、クオリティの高い研究の発展に関心を持つ皆様の参加をお待ちしております。ピアレビュー・ウィーク2021の最新の発表をフォローし、#PeerReviewWeek21と#IdentityInPeerReviewのハッシュタグで、あなたの組織の計画をシェアできます。

## ピアレビュー・ウィークについて

ピアレビュー・ウィークは、研究のクオリティを維持する上で肝要な役割を担うピアレビューを称える、グローバルなイベントです。「優れたピアレビューは、その形や形式に関わらず、学術コミュニケーションにおいて不可欠な存在である」と言うコア・メッセージを共有する、あらゆる個人や組織・団体が一堂に会します。私たちは、様々なイベントやウェビナー、インタビュー、ソーシャルメディア・アクティビティなどの運営を行います。

## 詳細情報

参加団体やPRW2021の最新情報に関しては、[ピアレビュー・ウィークのウェブサイト](#)をご参照ください。

参加を希望される方や、PRW関連イベントや、その他ご自身のイベントを企画されている方は、今年度のマーケティング&コミュニケーション委員会の委員長を共同で務めるダニエル・パドゥーラ ([padula@scholasticahq.com](mailto:padula@scholasticahq.com)) または、ジャヤシュリー・ラジャゴパラン ([jayashreer@cactusglobal.com](mailto:jayashreer@cactusglobal.com)) までご連絡ください。